



原付バイクなどのご当地ナンバーの統一デザインが決定

一関、奥州、金ケ崎、平泉の4市町や商工・観光団体で構成する「平泉ナンバーを実現させる会」（会長・宇部貞宏一関商工会議所会頭）は4月22日、本年度の総会を開き、7月1日から導入する原付バイクなどの「平泉」ご当地ナンバープレートの統一デザインを発表しました。

全国から応募のあった125点の中から、大槌町の蛇口禎治さん（58）の作品が最優秀賞に選ばれました。

作品には、中尊寺金色堂やハスの花をモチーフに藤原文化の優雅さが表現されています。



総会で発表された原付バイクなどのご当地ナンバープレートの統一デザイン



最優秀賞に選ばれた蛇口さん

ご当地原付ナンバーの導入は県内で初めてで、広域の市町村で統一されたナンバーが導入されるのも全国的に珍しいケース。今回のご当地原付ナンバーの導入は、自動車のご当地ナンバーの実現に向け大きなPRになると期待されています。

また統一デザインに選ばれた蛇口さんのほか、優秀作品として次のお二人が選ばれました。（敬称略）

▶ 優秀賞＝八木日出夫（一関市真柴）

立志哲洋（東京都江東区）

本年度の導入に向けた手続き

- ▷ アンケートやヒアリングを通じた住民、関係団体のニーズ把握（4～5月）
- ▷ 県を通じて国へ要望書の提出（6月）
- ▷ 有識者による審査会でのプレゼンテーション（7月ごろ）

8月に導入の是非が決定され、導入が決定されれば、平成26年度中に平泉ナンバーが誕生します。